

にじいろ通信



令和7年3月25日 第13号 札幌市立認定こども園にじいろ

にじいろホームページは [認定こども園 にじいろ](#) で検索してください。

令和6年度のにじいろ通信も今号で最後になります。毎年のことですが春の日差しと園庭の雪解けに1年の過ぎゆく速さを実感しています。

3月18日には卒園式が行われ、らいおん組の子どもたちが期待を胸に巣立っていきました。きりん組は、にじいろを代表して憧れのお兄さんとお姉さんに元気いっぱいの歌のエールを送ってくれました。

入園してから初めての集団生活の中で、子どもたちはたくさんの“人”や“物”や“事”に出会いました。そして、喜びや楽しさ、戸惑いや悔しさ、悲しみなどの様々な感情を味わい、集団生活の中でしか出会わない考え方やルールに触れ、心も体も逞しく大きくなってきました。毎日、毎日が心ときめく、あっという間の1年だったことと思います。卒園式を終えた年長児の成長はもちろんですが、乳児からの在園児一人一人の成長の軌跡を振り返ると胸が熱くなるのと同時に拍手を送りたい気持ちでいっぱいになります。

子どもたちの成長の陰には、保護者の皆さまの子育てのご苦労とともに、園生活へのたくさんのサポートがあったと考えています。本当にありがとうございました。職員一同、感謝申し上げます。

3月の最終号に添えて、先日知った言葉をご紹介します。

映画監督の大林信彦さんがこんな言葉を残しているそうです。

人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、
「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、
「さようなら」の数だけ愛を知る。



幼い子どもの生活には当てはまらないかもしれませんが、にじいろで交わされた、また、これから交わされていく様々な「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」が子どもたちの輝かしい未来の糧になることを信じています。

保護者の皆さまには温かいご理解とたくさんのお力添えをいただき、ありがとうございました。

これからも、認定こども園にじいろをどうぞよろしくお願いいたします。

園長 増山 香織

4月行事予定

9日(水)	始まりの式	23日(水)	園医健診(0~2歳) 誕生会
11日(金)	入園式	24日(木)	こいのぼり掲揚式
17日(木)	避難訓練	26日(土)	にじいろの日、クラス懇談会
18日(金)	新入幼稚園児給食開始	28日(月)	幼稚園代休日

- ・4月からは新学期です。クラスの名前や保育室が新しくなります。この機会に上靴のサイズ、着替えなどの持ち物にフルネームでの記名を再度ご確認ください。
 - ・3月31日で離任する職員につきましては、3月25日(火)より玄関に掲示いたします。
 - ・新年度のクラス担当につきましては、3月28日(金)より玄関に掲示いたします。
- ※入園式の日は通常通りの登園です。9:30までに登園してください。

卒園式が終わりました

先日卒園式を終え、らいおん組 18 名がにじいろを巣立っていきました。卒園証書授与では、元気な声で「ありがとうございます」と言い、堂々と受け取る姿はとても立派でした。楽器発表では、運動会や発表会で使用した思い出の曲を演奏しました。みんなと息を合わせ、自信满满に楽しんで演奏しており、見ている保護者の方も懐かしく、楽しい気持ちになったのではないかと思います。

今年も在園児を代表してきりん組が卒園式に参加しました。らいおん組へ「今までありがとう」の気持ちを込めて歌を披露し、お祝いしました。来年は自分たちの番だと、期待と憧れの気持ちを抱いていたようです。



乳児クラスの異年齢交流



最近の乳児クラスでは、異年齢交流を積極的に取り入れてきました。らっこ組とうさぎ組が同じ遊びを一緒に楽しんだり、幼児クラスと一緒に遊んだりして交流をしました。

乳児クラスの子どもたちは、幼児クラスの遊びを見て「やってみたい」と憧れたり、身の回りのことを「手伝って」とお願いしたりする姿がありました。年上の児は頼られることで「やってあげたい」という優しい気持ちが芽生えており、子ども同士のやり取りの中で生まれる育ち合いが見られています。

3月のご意見・ご要望についてお知らせします。

- 1 「名札で服に穴があいてしまうことについて（3/5掲示）」のご提案をいただきました。ご提案内容と回答は玄関に掲示させていただいております。ご確認ください。
- 2 【ご意見】上記1のご提案に対する園からの回答「名札を付ける期間について年度当初の2～3か月程度とすることといたします。」について、名札を付けていないと、園外に出た際に子どもが集団から離れてしまった場合に心配である。

【園から】これまでも、バス遠足などでは安全の観点から「認定こども園にじいろ」と園名記載の名札を付けておりました。今後子どもの安全と個人情報の観点を踏まえて、散歩などで近隣に出かける際の名札の取り扱いについて検討させていただきます。変更がありましたら、お知らせいたします。

3 【ご意見】給食時や排泄（おむつ交換）時の、保育者の子どもへの関わりや保護者への対応について疑問に思うことが何度かあった。また、家庭ではなかったと思われる怪我があり、園も把握しておらず、報告がなかった。このようなことが重なり、園に対して不信感を感じた。

【園から】お子さんが安心して園に通い、また、保護者にも安心してお子さんを預けてもらえるように努めておりますが、至らない点が重なり不安な思いを抱かせてしまい大変申し訳ありませんでした。職員間の引き継ぎや情報共有が不足していたことと、危機管理意識が低かったことで、保護者への報告ができておりませんでした。今後は職員間の連携を高められるよう情報共有に努めるとともに、ご家庭への発信も強化していきます。また子ども一人一人の状況の把握と丁寧な関わりに努めていきます。

4 【ご意見】子どもや保護者に対する園の対応について、以下（主なものを要約して記載）などのような複数の気になる点があり、子どもを安心して預けることができなくなった。子どもの育ちや保護者の状況や考え方は様々であることを考えて、働きかけや言葉かけなどの対応を行ってほしい。保護者の立場を理解して、安心して子どもを預けることができるように、園の職員全体で改善に向けてほしい。

- ・迎え時に子どもが保育士に注意されて落ち込んでいる姿を見たが、詳細の説明がなかった。
- ・新しい環境に馴染み、他の子どもたちと仲良く遊ぶことができるような積極的な誘導を保育士が行わなかった。
- ・園が示した洋服や身の回りのものを用意するが、説明が不十分なままそれ以上のことを求められることがあった。また、子どもが自分で扱えないものがあった場合、保育の中で様子を見る期間が短く、すぐに保護者に手立てを求めてくることがあった。
- ・物の準備について促されたが、自分にだけで他の子どもには言っていなかったことがあった。

【園から】お子さんのよりよい育ちにつながるためにと考えて対応してきましたが、保護者の気持ちに寄り添ってお伝えすることができず、不安な思いや園への不信感を抱かせてしまったことをお詫びいたします。保護者の状況や思いをよく考えて、言葉をかけたり働きかけをしたりすること、また、園の意図をご理解いただけるように丁寧に具体的な説明を行い、園と保護者が同じ気持ちでお子さんの健やかな成長のために協力できるようにすることを職員全体で確認をいたしました。

今後も、保護者の方からいただいたご意見やお気付きの点について、職員間で共有し、信頼されるにじいろとなるように努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

